

困ったときは?

販売店や修理ご相談センターにお問い合わせになる前に、下記をご確認ください。
症状が改善しない場合は、ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

電源が入らない

- 電源アダプターをコンセントに正しく接続しましたか?
- 電源プラグを奥まで差し込みましたか?

音が出ない

- パワードスピーカーやパワーアンプの電源をオンにしましたか?
- マイクなどの外部機器やスピーカーを正しく接続しましたか?
- 接続ケーブルがショート(断線)していませんか?
- 各チャンネルの [LEVEL] ツマミや [STEREO LEVEL] ツマミを適切に調節しましたか?
- [PAD] スイッチがオン(●)になっていませんか?
スイッチをオフ(■)にしてください。音源からの音量が小さい場合、オン(●)にしていると、音が聞こえないことがあります。

音が歪む、雑音が入る

- 各チャンネルの [GAIN] ツマミ、[LEVEL] ツマミ、または [STEREO LEVEL] ツマミが上がりすぎていませんか?
- [PEAK] LED が点灯していませんか?
チャンネル 1/L、2/R の [GAIN] ツマミを下げたり、[PAD] スイッチをオン(●)にしてください。
- レベルメーターの「PEAK」(赤)が点灯していませんか?
各チャンネルの [LEVEL] ツマミや [STEREO LEVEL] ツマミを調節してください。
- [PAD] スイッチがオフ(■)になっていませんか?
スイッチをオン(●)にしてください。音源からの音量が大きい場合、オフ(■)にしていると、音が歪むことがあります。
- 本体に接続した機器の音量が大きすぎませんか?
接続した機器の音量を下げてください。

ボーカルやスピーチの声をはっきりさせたい

- [HPF] スイッチをオン(●)にしてください。
音声クリアになります。
- イコライザー (EQ) ツマミを調節してください(例: LOW を下げる、HIGH を上げる)。

エフェクトがかからない(MG06X)

- [FX] スイッチをオン(●)にしましたか?
- 各チャンネルの [LEVEL] ツマミは上がっていますか?
- [FX RTN LEVEL] ツマミを適切に調節しましたか?

マイクスタンドへの固定

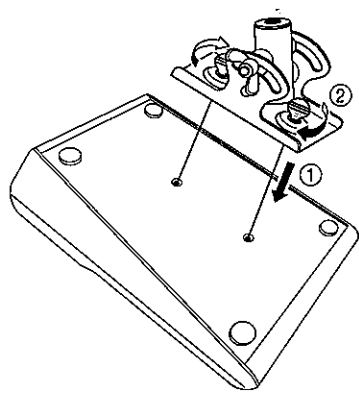
注意

- マイクスタンドが倒れると、機器の損傷やけがをすることがあります。接続ケーブルを引っ掛けないように、接続ケーブルをマイクスタンド軸に沿ってマイクスタンドの設置面までおろすなどの対策をしてください。

注記

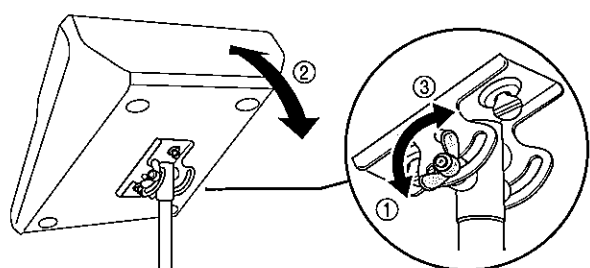
- マイクスタンドの設置は、水平かつ安定した場所を選んでください。また、振動や風のある所では使用しないでください。
- マイクスタンドのまわりには、十分なスペースを取ってください。

- 別売のマイクスタンドアダプター (BMS-10A) を本体裏面のネジ穴に合わせて(①)、2本のネジをしっかりと締めて固定します(②)。



- 本体をマイクスタンドに取り付けます。

- 角度調整ネジをゆるめ(①)角度を調整し(②)、角度調整ネジをしっかりと締めて固定します(③)。



詳しくは、BMS-10A の取扱説明書をご参照ください。

一般仕様

0 dBu = 0.775 Vrms シグナルジェネレーターの出カインピーダンス: 150 Ω
特に指定のない場合、ツマミはノミナル位置。

周波数特性	入力チャンネル → STEREO OUT	+0.5 dB/-0.5 dB (20 Hz ~ 20 kHz), refer to the nominal output level @ 1 kHz, GAIN ツマミ: 最小
全高調波歪率 (THD+N)	入力チャンネル → STEREO OUT	0.01 % @ +8 dBu (20 Hz ~ 20 kHz), GAIN ツマミ: 最小 0.003 % @ +18 dBu (1 kHz), GAIN ツマミ: 最小
ハム & ノイズ *1 (20 Hz ~ 20 kHz)	入力換算ノイズ 出力残留ノイズ	-128 dBu (モノラルインプットチャンネル, Rs: 150 Ω, GAIN ツマミ: 最大) -102 dBu (STEREO OUT, STEREO LEVEL ツマミ: 最小)
クロストーク (1 kHz) *2		-88 dB
入力チャンネル		6チャンネル: モノラル (MIC/LINE): 2, ステレオ (LINE): 2
出力チャンネル		STEREO OUT: 2, PHONES: 1
バス		STEREO: 1
	PAD	26 dB
	HPF (ハイパスフィルター)	80 Hz, 12 dB/oct
モノラル入力 チャンネル機能	EQ (イコライザー)	HIGH: ゲイン: +15 dB/-15 dB, 周波数: 10 kHz シェルビング LOW: ゲイン: +15 dB/-15 dB, 周波数: 100 Hz シェルビング
	PEAK LED	イコライザー後の信号がクリッピング (+11 dBu) の手前 3 dB に達すると点灯
レベルメーター	STEREO LEVEL つまみ調節後	2 × 7 ポイント LED メーター (PEAK (+11), +6, +3, 0, -3, -10, -20 dB)
内蔵デジタルエフェクト (MG06X)	SPX アルゴリズム	6種類
ファンタム電源		+48 V
電源アダプター		MU18 (DC12 V/1.5 A, ケーブル長 = 1.5 m), 100 V - 240 V, 50 Hz/60 Hz (またはヤマハ推奨の同等品)
消費電力		12 W
寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)		149 mm × 62 mm × 202 mm
質量		MG06X: 0.9 kg, MG06: 0.9 kg
オプション (別売) 品		Mic Stand Adaptor: BMS-10A
動作環境温度		0 ~ +40°C

*1: ノイズはA-weightingフィルターで測定。*2: 1 kHz バンドパスフィルターで測定。

※この取扱説明書では、発行時点の最新仕様で説明をしております。最新版の取扱説明書につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードしてお読みいただけますようお願いいたします。

端子の極性(ピン配列)

入出力端子	端子の極性	バランス / アンバランス	端子の形状
MIC/LINE 1/L, 2/R STEREO OUT L, R	ピン 1: グラウンド ピン 2: ホット ピン 3: コールド	バランス型	XLR コネクター INPUT OUTPUT
MIC/LINE 1/L, 2/R* STEREO OUT L, R*	チップ: ホット (+) リング: コールド (-) スリーブ: グラウンド	バランス型	TRS フォーンプラグ
PHONES	チップ: L リング: R スリーブ: グラウンド	-	TS フォーンプラグ
LINE 3/4, 5/6	チップ: シグナル スリーブ: グラウンド	アンバランス型	TS フォーンプラグ

*アンバランス型のTSフォーンプラグも使用できます。

注記

- やむをえず本体のバランス (平衡) 出力をアンバランス (不平衡) 機器に接続する場合は、各機器間のグラウンド電位を合わせてください。グラウンド電位が違ると、機器が故障するおそれがあります。
- アンバランス (不平衡) 機器接続ケーブルの配線は、ピン 1: グラウンドとピン 3: コールドを接続してご使用ください。

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■ 製品の取り扱い / お手入れに関する注意

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- 直射日光のあたる場所 (日中の車内など) やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色 / 変質する原因になります。
- 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色 / 変質の原因になりますので、使用しないでください。
- 機器の周囲温度が極端に変化して (機器の移動時や急激な冷暖房下など)、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。
- 電源アダプターは、この機器から十分に離してください。この機器に雑音が生じる場合があります。
- イコライザーや LEVEL ツマミをすべて最大には設定しないでください。接続した機器によっては、発振したりスピーカーを破損したりする原因になることがあります。
- スピーカーの故障を防ぐために、電源を入れるときは、最後にパワーアンプの電源を入れてください。また、電源を切るときは、最初にパワーアンプの電源を切ってください。
- 使用後は、必ず [●] (スタンバイ / オン) スイッチを切りましょう。

■ コネクターに関する注意

XLR タイプコネクターのピン配列は、以下のとおりです (IEC60268 規格に基づいています)。

1: グラウンド (GND), 2: ホット (+), 3: コールド (-)

お知らせ

■ 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。